請求書依頼の明細登録時に「源泉税の対象」を「対象とする」に設定すると、入力した金額から源泉徴収税が自動計算され、仕訳データが作成されます。

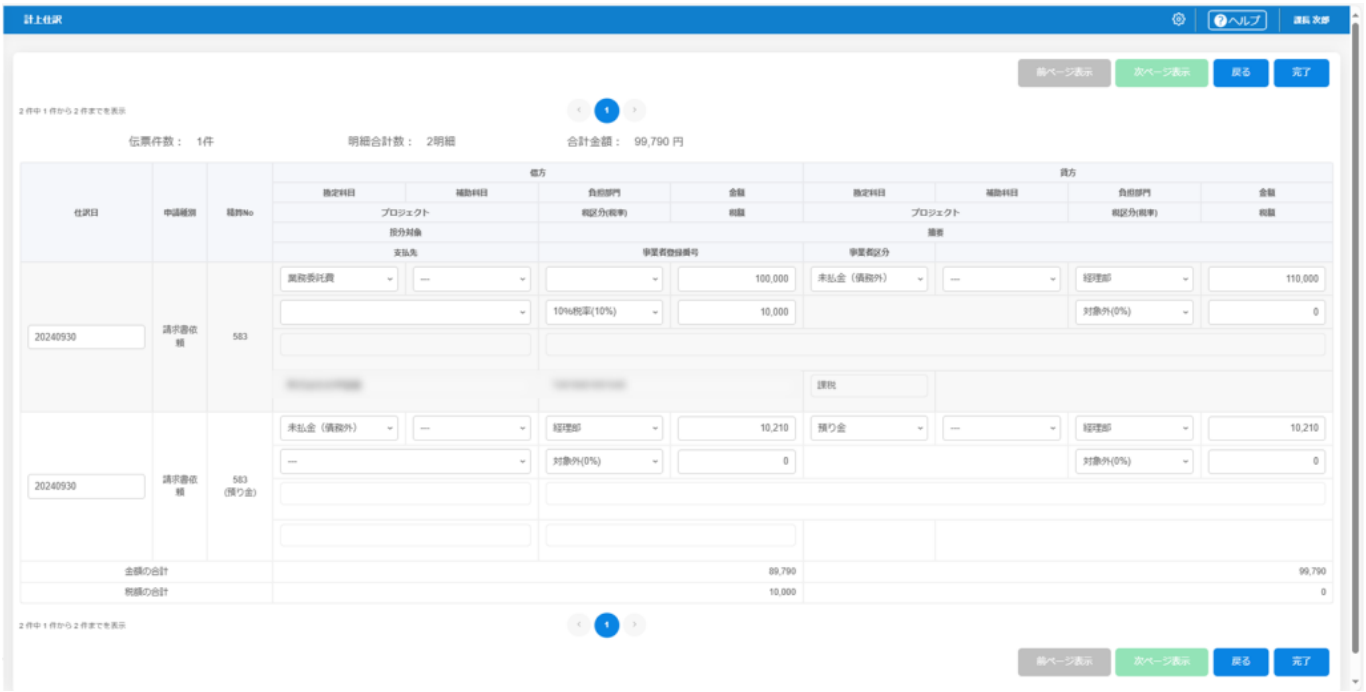
処理手順は通常の請求書処理と同じですが、仕訳は次のように生成されます。

・「未払金」の仕訳と同時に、「預り金」の仕訳が生成されます。この「預り金」の仕訳には、源泉徴収税額が反映されます。

・源泉税の対象となる明細の場合、合計金額に支払額（源泉税分を差し引いた金額）が入ります。また□FB□ファームバンキング）データも、源泉税（預り金）を差し引いた金額で作成されます。

なお、源泉徴収税を納税する際の仕訳は自動作成されませんので、会計システムを使用して手動で仕訳を作成してください。

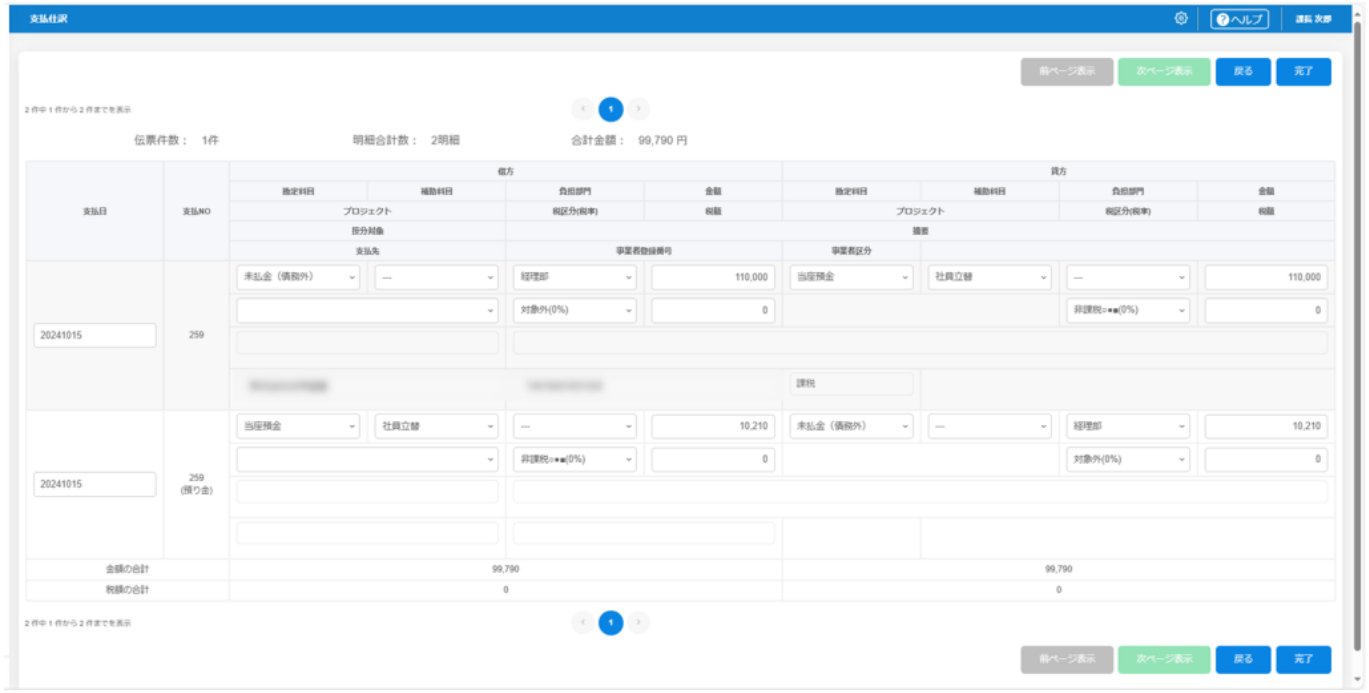
例）源泉税対象の請求書依頼を経理処理する際の画面イメージ
▼計上仕訳画面



▼支払確定画面


確認
以下の内容で支払確定します。
よろしいですか？
振込元:
UFJ銀行
支払日:
2024/10/15
振込手数料:
0
金額の合計:
99,790
閉じる
確定
2023-12-07
218,000
編集
2024-02-07
11,000
編集

▼支払処理画面


支払仕訳
ヘルプ
前ページ表示
次ページ表示
戻る
完了
伝票件数： 1件
明細合計数： 2明細
合計金額： 99,790 円
借方
貸方
支払日
支払NO
勘定科目
補助科目
負担部門
金額
プロジェクト
税区分(税率)
税額
摘要
支払先
事業者登録番号
事業者区分
20241015
259
未払金（債務外）
経理部
110,000
当座預金
社員立替
対象外(0%)
0
課税
20241015
259
(預り金)
当座預金
社員立替
10,210
未払金（債務外）
経理部
非課税○●■(0%)
金額の合計
99,790
税額の合計
0